

## 1) 広南病院脳血管内科の概要

広南病院は宮城県仙台市にある脳神経疾患の専門病院で、年間約 800 例の脳卒中入院症例を治療しています。脳血管内科は 2005 年度に新設されました。年々増員され、2008 年度から 4 名態勢となりました。院内の脳神経外科、血管内脳神経外科（脳血管内治療科）と緊密に連携し、「脳卒中専門の内科」として診療に当たっています。

## 2) 当科の診療および活動内容

①急性期脳血管障害の内科治療：2005 年 12 月から 2008 年 12 月まで計 72 例へアルテプラゼ（rt-PA）静注療法を当科が実施しました。

②脳血管撮影：当科所属 1 年目で施行する脳血管撮影件数は医師 1 人あたり約 200 例です。脳血管撮影の対象は虚血性脳血管障害に限らず、脳神経外科および血管内脳神経外科が担当する脳動脈瘤、脳動脈解離、脳出血、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、脳腫瘍なども含まれます。

③虚血性脳卒中に対する血管内治療：広南病院には日本脳神経血管内治療学会の指導医 1 名、専門医 2 名（うち 1 名は脳血管内科所属）が在籍し、年間約 300 件の血管内治療が施行されています。脳血管内治療は血管内脳神経外科の担当ですが、脳梗塞超急性期の局所線溶療法および血管形成術へ積極的に協力しています。

④神経超音波検査：「心臓・血管を見ずに脳卒中は語れない」の持論でほとんどの検査を自分たちで行っています。塞栓源検索に不可欠な経食道心エコーは、最新の装置を用いて年間約 150 例に施行しています。その他、経頭蓋ドプラ、経頭蓋カラードプラ、眼動脈エコー、頸動脈エコー、経口腔頸動脈エコー、下肢静脈エコーなど神経超音波検査を「脳の聴診器」とし活用して、脳梗塞の原因を確定しています。神経超音波検査に関しては、全国でもトップレベルと自負しています。また、検査部と緊密に連携し、経胸壁心エコー、脈波伝播速度、腹部大動脈エコーを開始してもらい、動脈硬化を全身血管病として評価する態勢を築いています。

⑤適切な栄養療法、嚥下障害への対策：栄養状態をスクリーニングし、早期から経腸栄養を開始するように努めています。嚥下障害を合併する場合、看護師、言語聴覚士、管理栄養士と合同の嚥下回診で状態を評価しています。また、必要に応じて当科で内視鏡的胃瘻造設術まで施行しています。

⑥研究活動：厚生労働科研の研究班など多施設共同研究に積極的に協力しています。主なものは以下の通りです。

- ・ ProGEAR（アスピリンレジスタンスの実態ならびにその遺伝子背景に関する研究）
- ・ ASIST-Japan（急性期脳梗塞における CT, MRI 検査の標準化に関する研究）
- ・ 18-公2（粥状硬化性機序による難治性脳梗塞の診断・治療・予防に関する研究）
- ・ SCADS Japan（脳血管解離の病態と治療法の開発）
- ・ J-ACT2（アルテプラゼの虚血性脳血管障害急性期に対する製造販売後臨床試験）
- ・ CATHARSIS(症候性頭蓋内動脈狭窄性病変に対する抗血小板薬の進展抑制効果に関する研究)
- ・ 厚労 H20-019（わが国における脳卒中再発予防のための急性期内科治療戦略の確立に関する研究）
- ・ TCT-LoFUT（経頭蓋超音波脳血栓溶解装置の治験）

International Stroke Conference で昨年 1 演題発表し、今年は 3 演題採択されています。

### 3) 当科の治療成績

当科の定床 38 ですが、オーバーすることが多々あります。

2007 年 11 月～2008 年 10 月まで：総入院患者数 629 名（脳卒中 574 名）の最終診断を示します（図 1）。その他の脳梗塞が多いのは、きちんと脳血管および塞栓源を評価している結果と考えています。

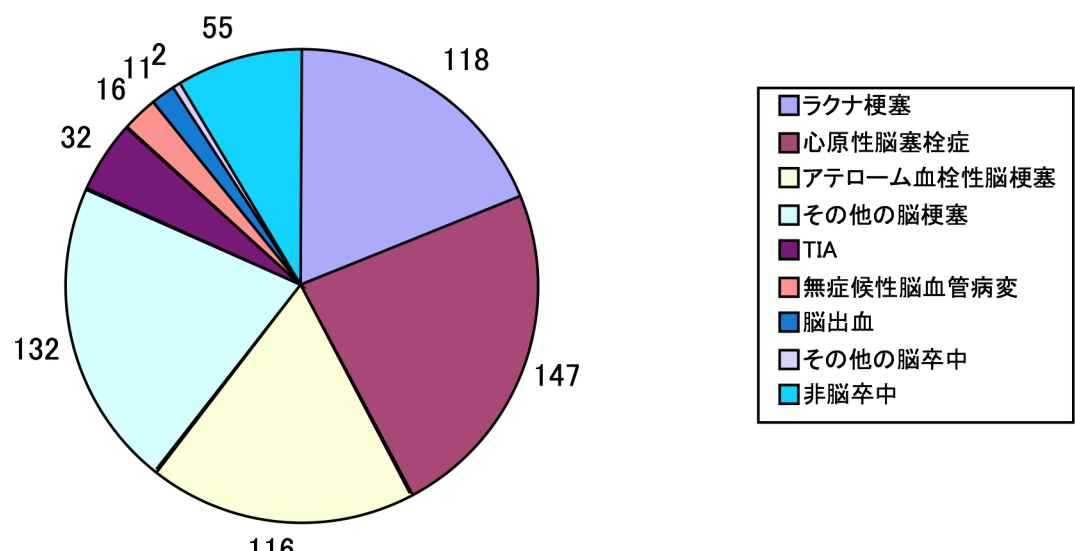
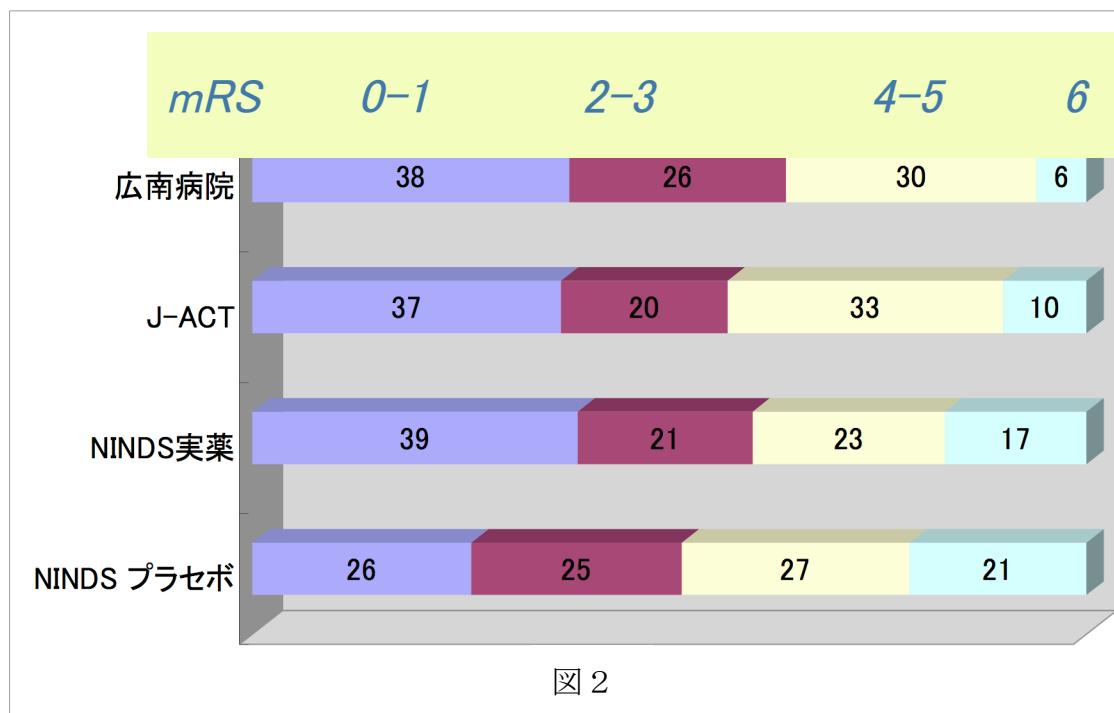


図 1

アルテプラゼ（rt-PA）静注療法を施行した症例のうち治療前の mRS 1, 2 の 50 名の 3 ヶ月後の転帰を示します（図 2）。NINDS や J-ACT と同程度の成績です。



#### 4) 当科の特色

特定の大学病院の関連診療科ではなく、大学から独立した自由な存在が特徴です。スタッフ 4 名の出身地、出身大学もまちまちで、特に偏りはありません。脳卒中内科診療で歴史のある、国立循環器病センター脳血管内科で研修したスタッフも 2 名在籍します。スタッフが取得している資格の主なものは、脳卒中専門医（3 名）、神経学会専門医（2 名）、脳神経血管内治療学会専門医（1 名）、総合内科専門医（1 名）などです。これらおよび脳神経超音波検査士の資格取得が可能です。今後、臨床研究を充実させ、東北地方における脳卒中内科診療のメッカとなる事が当科の目標です。脳卒中研修には適切な環境がそろっております。脳卒中に興味ある内科医の見学は大歓迎で随時受け付けています。

#### 連絡先：

〒982-8523 宮城県仙台市太白区長町南 4 丁目 20 番 1 号  
 財団法人広南会広南病院脳血管内科  
 Tel 022-248-2131（代表）、Fax 022-304-1641  
 古井英介 e-furui@k3.dion.ne.jp  
 板橋 亮 ritabash@kohnan-sendai.or.jp